

TM ニュース

TM ミーティング参加生徒用情報③2018.10.12

TM ミーティング

9月22日(土)のTM ミーティングはNPO 法人16歳の仕事塾による「社会人基礎力養成 チーム力を高める」と題したワークショップを体験しました。最初にファシリテーターの竹丸草子さんよりワークの目的が話されました。



<ファシリテーターの竹丸さん>

「“グループ”はただの人の集まりであるが、“チーム”は目的があり集まっているもので、共通のゴールがある。災害時などに今まで出会ったことのない人がチームで医療などにあたることもあることから、チーム力を高めるチームビルディングプログラムを体験する。」「強いチームを作ることを考える」のが本日の目標であるとの説明がありました。4人ずつが一つのチームになり、スパゲッティのタワーを積み上げ頂上にマシュマロを乗せて、より高いものを作成する「マシュマロ・チャレンジ」の始まりです。



<マシュマロ・チャレンジに挑戦中>

一回目、説明を聞きタワーを作成し高さを測り、各自、各チームで振り返りを行いました。「マシュマロを甘く見ていた！」の感想が出るくらい予想以上にマシュマロは重く、スパゲッティを高くたたせ

ることが難しいことがわかりました。各チームの反省を生かし、再度挑戦し、TM生の最高は61cmでしたが、世界記録は、3回行い90cmとのことでした。2回目の制作の後に各自が気づいたことなどの振り返りを再度行いました。



<校長先生が高さを計測中> <チームで振り返り>

TM生の気づきや感想をいくつか紹介します。

「チームで行動するには役割分担が必要だが、その役割を決めるためにも、自分の得意分野や苦手分野を理解することも大切だと思った。」「たくさんアイデアを出していくことは良いと思った。ただ、そこでどのアイデアを取り入れていくかや目標に一番適しているのは何かをチーム全員で考え決めて、それを共有することが大切だと気付きました。」「チームで意見を出し合う中で相手の意見をただ否定するのではなく、まずやってみる、素直に聞いてみるなど相手に対するリスペクトからもよいアイデアが出てくるかもしれないと気付けた」 「チームでやることのむずかしさ、そしてその中で大切なこと・・・コミュニケーション、P (Plan) D (Do) C (Check) A (Action) サイクルなどがわかった。」などの振り返りが見られました。ファシリテーターの竹丸さんからは、「一つのことからいろいろなことを考えられ、大事なことをくみ取っていることと、今までにないいくつかのアイデアがみられた」との感想をいただきました。

これからのTM行事

- ・10月27日(土) 第2回勉強法講習会(1, 2年生対象)+生徒保護者向け講演会(生物講義室にて)
- ・10月30日(火) TM ミーティング 15:00~16:30 本校卒業生であり、東京都立医学総合研究所の神経細胞分化プロジェクトリーダーの岡戸晴生氏による講演会(生物講義室にて)
- ・12月8日(土) 13:00~ TM 研究発表会(講堂にて)
- ・12月11日(火) 15:00~ 3年生対象の医学部医学科受験直前講話(生徒相談室にて)

<夏休み中の体験の紹介>

7月、8月に行われた大学、研究所、病院などの体験の様子を逐次お知らせします。

- 7月23日(月) **東京医科歯科大学** 高大連携プログラムへの参加 (1、2年生13名)

午前中の内容は4グループに分かれ、①聴診器を用いて心臓や肺の聴診、②DVDによる医療面接の様子の見学、③バーチャルでの内視鏡手術手技トレーニング(腸内の腫瘍を焼き切る体験や縫合の練習体験)、④DVDによる救急蘇生実習の様子を学びました。午後は研究室に案内していただき、先生や医学生からレクチャーを受けながらの体験実習を行いました。さらに都立高校卒業の医学生との交流会が行われました。「大学での勉強は本当に大変で、特に2年次はテストがたくさんあり膨大な量の専門用語を覚えなくてはならず、大学受験のときより勉強していたかもしれない」とのお話や、「高校1、2年生で苦手科目を作らないようにコツコツ文系科目もしっかりやっておくことが大切」とのアドバイスをいただきました。



<内視鏡手術体験>

<研究室訪問>

- 8月6日(月) **都立広尾病院**での体験研修(1、2年生9名)

まず、救急救命センターのお話を伺いました。担当の先生からは、学生時代のお話から現在の東京都の救急医療まで、幅広く、貴重なお話をしてくださいました。特に、島しょ部での医療活動や生活では、医師としてだけでなく、ともに島で生活している者同士の密な関係を築いていたという興味深いお話を伺いました。講話の最後に、医師の仕事は pricelessであること、医師として必要な力はチームを率いる力やへこたれない力などの、「人間力」であることをご教示いただきました。その後、屋上でヘリポートを見学したり、シミュレーターを用いた内視鏡の操作体験をさせていただき、大変充実した研修となりました。

TM生は医師になる

平成30年度もTM生は講演会出席や大学、病院、研究所での体験研修に取り組んできました。医師になりたいという気持ちが一層高まってくれればと願っています。

さて、医学部には入試という壁が立ちはだかります。この壁を越えないと君たちの思いが実現しません。チームメディカルに所属し医師になろうとしている仲間がこれだけいることは受験に向かう際の精神的な支えになるはず。そして、その仲間が自分と同じ目標に向かって毎日頑張っているということが励みになって、地道な努力を継続する原動力になるはず。下の表は医学部医学科を受験した先輩方の貴重なデータです。

医学部医学科が求める学習到達レベル(ベネッセ模試データを指標にした例) 2018. 10. 10 TM作成

2015年度 進研模試 1年生7月記述 成績	2015年度 進研模試 1年生11月記述 成績	2016年度 進研模試 2年生7月記述 成績	2016年度 進研模試 2年生11月記述 成績	2017年度 スタサポ 3年生1回 学力	合格医学部医学科	センター 得点率 79%以上
国数英総合 学習到達ゾーン	国数英総合 学習到達ゾーン	国数英総合 学習到達ゾーン	国数英総合 学習到達ゾーン	国数英βββ 学習到達ゾーン (5月)		
S3	A2	A1	A3	A1		
S1	S1	S2	S1	S2	国立大学医学部合格	86%
S2	A2	S3	A2	A1		79%
S3	A1	A1	A1	A1		
S1	S1	S2	S2	×	国立大学医学部合格	88%
S3	S2	A1	S1	—	国立大学医学部合格	92%
S1	S1	S3	S1	—	国立大学医学部合格	89%
S2	S3	A1	S3	—		79%
S2	S3	A1	S3	—		
S3	A2	A1	S3	—		79%
S3	S3	A1	S3	—		79%
S1	A2	A1	A1	—		

目標の学習到達レベルは **S2** になります。自分のこれまでの学習到達状況との差を把握してください。そして学習に向かう自分の特徴を冷静に分析し、1日24時間の内、何時間を学習に振り向けることで自分はS2レベルに到達できるのかを考えてください。学習の定着過程は、一人一人の個性特性があります。自分の個性特性を認識した上で、Classiからの推奨問題(個人個人向けにアレンジされている)を利用するなど計画的に学習を進めてください。S2に到達している生徒は、さらに上のレベルに、S1に到達している人は、そのポジションを常に維持できるように日々努力してください。

なお、スタディサポートβ問題で平均得点率74点の力が概ねS2レベルになります。 (TM担当)